

◆主要地方道秦野二宮 桜ヶ谷陸橋 (P5) 耐震補強工事

～工事ダイジェスト(その3)～



【クリアランス内排土工】
深さを確認しながら圧縮空気を送り排土を繰り返します。



【クリアランス内排土工】R5. 10. 10
水中カメラを使用して、排土状況の確認を行います。



【モルタル充填工】R5. 10. 11
モルタル供給システム車により、水・粉体の量を管理しながら、モルタルを充填します。



【モルタル充填完了】R5. 10. 11
不純物混じりのモルタルを取り除き比重を確認して完了。



【濁水処理放流】R5. 10. 4~10. 13
濁水を濁度50mg以下/L・pH6. 5~8. 5を確認してから側溝に放流。



【汚泥処分】R5. 10. 18
濁水処理装置で仕分けた汚泥を吸泥車にて運搬処分。



【橋脚部補強工】
足場を設置し、素地調整(サンダーケツ)を行い、無収縮モルタルの品質を確保する為吸出し防止材と橋脚に塗布。
R5. 10. 16~10. 17



【補強鋼板組立】R5. 10. 18~10. 20
足場を一部解体し、鋼板の組立。アンカーボルトにてクリアランス3cmを確認しながら約240箇所ボルト固定。



【補強鋼板溶接】R5. 10. 23~10. 25
補強鋼板の接続部を半自動溶接し、超音波探傷試験を行った。



【モルタル注入】R5. 10. 30
モルタル供給システム車により、水・粉体の量を管理しながら、モルタルを注入。



【現場塗装・完了】R5. 11. 13~12. 1



【土間コンクリート撤去・埋戻】R6. 1. 9~10
土間コンクリートの撤去し、補強鋼板に錆止め塗装を行ったのちに、発生土にて埋戻しを行った。



【町道復旧工】P4 R6. 1. 10~1/. 31
町道(側道)の一般車通行可能にするために、モルタル吹付撤去後大型土のうを積み砕石にて埋戻しを行い、舗装をした。



P5

R. 5. 2. 21より着工し、R6. 1. 31に完了。
約1年間におよぶ工事となりましたが、地元近隣様・発注者様・現場技術員様及び協力業者等のご協力により事故もなく安全に施工を進められました。
今後とも他工事でも安全第一で工事を行い進めてまいります。